令和9年度 工学部総合型選抜 受験スケジュール

1 入試要項をダウンロードする ※8月上旬公開予定

令和9年度総合型選抜より、入試要項の冊子（紙）は発行いたしません。入試要項および出願書類は、各自、大学ホームページ内の下記資料ページに掲載しております「令和9年度総合型選抜入学試験要項」をダウンロードの上、ご利用ください。印刷の際は、A4サイズの用紙に片面で印刷してください。

資料ページ
https://kindai.jp/members/element/
QRコードからもアクセスできます。

2 総合型選抜対策講座に参加 おすすめ

下記4日程で「総合型選抜対策講座」を実施します。
ぜひご参加ください。

※イベントへの参加は任意であり、必須ではありません。
※イベントへの参加は事前申込制です。各イベントの詳細および申込方法はQRコードからご確認ください。

■一般入試説明会&総合型選抜対策講座
令和 8年 6月 20日（土）

■工学部オープンキャンパス
令和 8年 7月 18日（土）・8月 2日（日）

■キャンパス見学・入試説明会
令和 8年 9月 5日（土）

各イベントの詳細は▼コチラから

総合型選抜対策講座の内容

- 総合型選抜の入試制度説明
- 教科に関する学力テスト（筆記試験（数学））の対策講座
- 入試、入学に関する個別相談（希望者のみ）

3 出願手続

■出願期間
令和8年9月18日（金）～令和8年10月1日（木）
（出願締切日必着）

4 試　験

■試験日
令和8年10月17日（土）

■会場
近畿大学（広島キャンパス）

5 合格発表

■合格発表日
令和8年11月6日（金）

6 入学手続

■入学手続期間

一括入学手続期間 ／ 第１次入学手続期間
令和8年11月6日（金）～令和8年12月24日（木）

第２次入学手続期間
令和8年11月6日（金）～令和9年 1 月29日（金）

工学部総合型選抜結果（過去3年間）

学　科	志願者数			受験者数			合格者数			競争率		
	令和8年度	令和7年度	令和6年度	令和8年度	令和7年度	令和6年度	令和8年度	令和7年度	令和6年度	令和8年度	令和7年度	令和6年度
化学生命工学科	15	11	20	14	11	20	12	9	19	1.2	1.2	1.1
機械工学科	8	7	4	8	7	4	5	7	4	1.6	1.0	1.0
ロボティクス学科	10	8	10	9	8	10	8	8	8	1.1	1.0	1.3
電子情報工学科	21	11	7	20	11	7	18	10	7	1.1	1.1	1.0
情報学科	9	23	16	9	22	16	6	16	9	1.5	1.4	1.8
建築学科	19	14	17	19	14	17	16	13	14	1.2	1.1	1.2
学部計	82	74	74	79	73	74	65	63	61	1.2	1.2	1.2

工学部の入試に関する質問はお電話またはメールにてお問い合わせください。

TEL 082-434-7004
Mail nyushi@hiro.kindai.ac.jp

近畿大学広島キャンパス学生センター
入試広報グループ　広報担当
月曜～金曜 9:00～17:00　※祝日、夏期・年末年始休暇中を除く

近畿大学工学部（広島キャンパス）

令和 9 年度 総合型選抜ガイド

年内入試 × 他大学との併願可 × 対策講座開催

以下の4日間のイベントで **総合型選抜対策講座** を開催します。

日　程

■一般入試説明会＆総合型選抜対策講座
6/20（土） 事前申込制
10:30～14:30（入場受付 10:00～）
詳細はコチラから

■キャンパス見学・入試説明会
9/5（土） 事前申込制
10:00～14:00（入場受付 9:30～）
詳細はコチラから

■工学部オープンキャンパス 事前申込制 無料送迎バスあり
7/18（土）・8/2（日） 10:00～15:00（入場受付 9:30～）
詳細はコチラから

総合型選抜対策講座の内容

- 総合型選抜の入試制度説明
- 教科に関する学力テスト（筆記試験（数学））の対策講座
- 入試、入学に関する個別相談会（希望者のみ）

イベントの詳細は工学部ホームページをご確認ください。

出願手続他、詳細は必ず **令和9年度近畿大学総合型選抜入学試験要項** をご確認ください。
（令和8年8月上旬公開予定）

近畿大学 KINDAI UNIVERSITY
工学部・広島キャンパス
〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1番
https://www.kindai.ac.jp/engineering/

出願資格

1. 近畿大学における志望学部での勉学を強く希望し、明確な目標をもって、入学を志す者。
2. 以下のいずれかの条件を満たす者。
   (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和 9 年 3 月卒業見込みの者。
   (2) 高等専門学校の 3 年次を修了した者および令和 9 年 3 月修了見込みの者。
   (3) その他文部科学省令により、 上記と同等以上の学力があると認められる者。
3. 学部(学科、専攻、コース)の出願条件を満たしている者。

学　科	募集人員
化学生命工学科	全学科で 40名程度
機械工学科	
ロボティクス学科	
電子情報工学科	
情報学科	
建築学科	

出願条件

工学部および学科のアドミッション・ポリシーに則り、志望する各学科が指定する個別の出願条件を満たす者。

※工学部および学科のアドミッション・ポリシーは以下のURLまたはQRコードからご参照ください。
https://www.kindai.ac.jp/about-kindai/principle/policy/undergraduate/engineering/

学　科	各学科が指定する個別の出願条件
化学生命工学科	数学の基礎学力を有すること。 生物、化学に興味、探究心があり意欲的に学ぶ強い意志があること。
機械工学科	物理、数学分野において理解力・考察力があること。 機械工学を学ぶ意欲と自己の将来像や夢が明確であること。
ロボティクス学科	物理、数学分野に興味や理解力があり、 ロボットおよび関連分野に強い探究心を持っていること。
電子情報工学科	電子や情報の技術に関連する話題において、相手の話を聞き取り、 自己の意見を論理的に表現するコミュニケーション能力があること。
情報学科	情報技術の基礎的事項に対する理解力があること。 情報技術を学ぶ動機・意欲と探究心を持ち、 自己の将来像が明確であること。
建築学科	建築、インテリアデザインに興味があり、積極的かつ意欲的に 取り組む姿勢があること。

出願書類

① 出願写真データ
② 出願資格を証明する書類(調査書など)
③ 志望理由書 800字程度
下記2点を含め、志望学科に関心をもった経緯や理由を記入
- 大学入学後に学びたいこと
- 大学卒業後の進路・目標

④ 活動報告書
各種競技・コンクール・展覧会・懸賞論文・ボランティアの受賞参加歴、資格・検定試験の名称を記載してください。

⑤ 資格・検定試験の取得を示す資料(写)(任意)
④で示した受賞、参加歴、資格・検定試験の取得を証明する資料を出願書類へ同封してください。

※③、④は所定の様式有り。印刷の際は、A4サイズの用紙に片面で印刷してください。
※「出願書類」は、試験当日の自己アピール等で使用する「持参物」とは別の書類です。
「持参物」に関する詳細は隣ページをご確認ください。

スケジュール

出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間	
			第1次手続期間	第2次手続期間
令和8年 9月18日(金)～ 令和8年 10月 1日(木)必着	令和8年 10月17日(土)	令和8年 11月6日(金)	令和8年 11月 6日(金)～ 令和8年 12月24日(木)	令和8年 11月 6日(金)～ 令和9年 1月29日(金)

選考方法・試験内容

■選考方法

教科に関する学力テスト(筆記試験(数学))・口頭試問(自己アピールなどを含む)・出願書類(調査書などを含む)を総合的に判定して、合否判定をします。

▼ 試験時間割

学科＼時間	10:30	10:30～10:45	11:00～12:00	13:00～
全学科	集合	諸注意	筆記試験 (数学)	口頭試問 (自己アピール等含む)

●教科に関する学力テスト(筆記試験(数学))

記述式問題　試験時間 60分　加点制度あり

筆記試験の出題範囲：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(数列)
数学の能力を評価するための「筆記試験(数学)」を実施します。
表1に示す資格・検定を取得している場合、筆記試験(数学)に加点します。

※表1以外の数理・情報系の資格・検定についても加点対象となる場合があります。
※対象となる資格や点数等、詳細についてはお答えしておりません。
※加点の対象とする資格・検定試験は原則として高等学校在学中に取得したものとします。

表1

資格・検定等の名称	主催機関名	資格・検定級位
実用数学技能検定	日本数学検定協会	準2級 以上
計算技術検定	全国工業高等学校長協会	2級 以上
基本情報技術者試験	経済産業省	合　格
ITパスポート試験	経済産業省	合　格
プログラミング能力検定	プログラミング能力検定協会	テキスト言語版 レベル2 以上 ビジュアル言語 レベル3 以上
情報技術検定	全国工業高等学校長協会	2級 以上
情報処理検定試験	全国商業高等学校協会	2級 以上

●口頭試問(自己アピールなどを含む)

個人面接方式　所要時間 20～30分

本学部・学科の定めるアドミッション・ポリシーに基づく範囲で口頭試問を実施します。口頭試問の際には各学科が指定する自己アピールに使用する資料を準備のうえ、持参してください。資料や原稿を読み上げるのではなく、自分の言葉で説明ができるよう準備してください。

※インターネット回線、およびパソコン周辺機器の貸し出しは行っておりません。

自己アピールなどの概要

化学生命工学科	テーマ	「持続可能な社会と 将来の目標との関わり」	自分の得意なこと、化学や生物について興味を持っていること、興味を持った経緯、それらを入学後の学修および卒業後の進路目標の達成に向けて、どのように活かしていきたいか等を、自身のこれまでの実績・経験を踏まえて発表してください。
	発表方法・資料等について	自己アピールの方法や 使用できる物	資料、または持参したノートパソコン等の電子機器を使用して発表してください。
		自己アピールに使用する 資料や作品の持ち込み	サイズ:A4／ページ数:制限なし(発表時間内(5～10分)に説明できる範囲とする) 作品は印刷物のみ認める。 なお、発表に使用する資料は口頭試問委員用に2部印刷して持参してください。
		試験室に準備してある物	ホワイトボード、マーカー、投影する機器、ケーブル類
機械工学科	テーマ	「自己アピールポイントと 機械工学との関わり」	発表では以下のような事柄を含めてください。 ① これまで自分が一生懸命に取り組んできたことや、そのためにどのような努力や活動をしてきたかについての自己アピール。 ② そのとき生じた問題点や、それをどのように克服したかについて。 ③ 自分がどれだけ機械や機械工学に興味を持っているか。 ④ 自己アピールポイントを生かしてこれからどのように機械工学を学んでいきたいか。 行動力や粘り強さを説明するため、どんな時に自分は力を発揮できたかよく自己分析をしてください。
	発表方法・資料等について	自己アピールの方法や 使用できる物	紙媒体による資料を使用して10分以内で発表してください。
		自己アピールに使用する 資料や作品の持ち込み	サイズ:A4／ページ数:片面5ページ以内(図や写真の挿入も含める) 自己アピールで自作の作品を使用する場合、現物は持参せず、自己アピールに使用する資料内に収めること。 なお、発表に使用する資料は口頭試問委員用に2部印刷して持参してください。
		試験室に準備してある物	なし
ロボティクス学科	テーマ	「ロボティクス学科で 実現したい目標と将来の夢」	ロボットに興味を持った経緯、大学で行いたい研究や作りたいロボット、入学後にどのような分野の知識を高め、 それを卒業後の進路においてどのように活かしたいかなどを、自身の経験を踏まえて発表してください。 また、プログラム・ロボット等の作成経験がありましたら併せて発表をしてください。
	発表方法・資料等について	自己アピールの方法や 使用できる物	資料、または持参したノートパソコン等の電子機器を使用して発表してください。
		自己アピールに使用する 資料や作品の持ち込み	サイズ:A4／ページ数:制限なし(5分以内で説明できるページ数にする。図や写真を挿入しても良い) 自作の作品を持参しても良い。 なお、発表に使用する資料は口頭試問委員用に2部印刷して持参してください。 ノートパソコンを使用して自作の作品(ソフト等)を紹介する場合も、その画面を印刷した資料を2部持参してください。
		試験室に準備してある物	なし　※パソコン・投影する機器・ケーブル類は貸与しません。
電子情報工学科	テーマ	「私が電子情報工学を学ぶ 理由」 または 「私が電子 情報工学科で学びたいこと」	自分の得意なこと・興味を持っていること・将来の目標などを題材とし、電子情報工学科で特に力を入れて学びたいこと について発表してください。
	発表方法・資料等について	自己アピールの方法や 使用できる物	資料または持参したノートパソコン等の電子機器を使用して発表してください。
		自己アピールに使用する 資料や作品の持ち込み	サイズ:A4／ページ数:片面2ページ以内(図や写真の挿入も含める) 自作の作品を持参しても構いません。 なお、発表に使用する資料は口頭試問委員用に2部印刷して持参してください。 ノートパソコンを使用して自作の作品(ソフト等)を紹介する場合も、その画面を印刷した資料を2部持参してください。
		試験室に準備してある物	ホワイトボード、マーカー　※パソコン・投影する機器・ケーブル類は貸与しません。
情報学科	テーマ	「自己アピールポイントと 情報技術との関わり」	自分の得意なこと、情報技術について興味を持っていること、興味を持った経緯、それらを入学後の学修および卒業後の 進路目標の達成に向けて、どのように活かしていきたいか等を、自身のこれまでの実績・経験を踏まえて発表してください。
	発表方法・資料等について	自己アピールの方法や 使用できる物	資料、または持参したノートパソコン等の電子機器を使用した発表。
		自己アピールに使用する 資料や作品の持ち込み	サイズ:指定なし／ページ数:指定なし(5分以内で説明できるページ数にする。図や写真を挿入しても良い) 自作の作品を持参しても良い。 なお、発表に使用する資料は口頭試問委員用に2部印刷して持参してください。 ノートパソコンを使用して自作の作品(ソフト等)を紹介する場合も、その画面を印刷した資料を2部持参してください。
		試験室に準備してある物	なし　※パソコン・投影する機器・ケーブル類は貸与しません。
建築学科	テーマ	「建築と私」または 「インテリアデザインと私」	自分の得意なこと、建築・インテリアについて興味を持っていること、興味を持った経緯、それらを入学後の学修および 卒業後の進路実現に向けてどのように活かしていきたいか等を、自身のこれまでの実績・経験を踏まえて発表してください。 例:「私の目指す建築家(技術者)像」「私の好きな建築家(建築物)」「私の好きなインテリアデザイン」 「私の考える災害に強い建築」「私の考えるまちづくり」「私の考える環境にやさしい建築」 「私の考える未来の建築」「災害ボランティアで考えたこと」
	発表方法・資料等について	自己アピールの方法や 使用できる物	紙媒体による資料を使用して5分以内で発表してください。
		自己アピールに使用する 資料や作品の持ち込み	サイズ:A4／ページ数:片面2ページ以内(図や写真の挿入も含める) 設計作品、図面、デッサンポスターなどの作品を持参しても良い。 作品は印刷物のみ認める。 なお、発表に使用する資料は口頭試問委員用に2部印刷して持参してください。
		試験室に準備してある物	なし